

## 公開講演会

# 陸軍将校の国際移動と知の交流 —デュ・ブスケを例に—

日時

2021年7月31日（土） 14:00～17:00

講演者

ベルランゲ河野紀子（リール大学教授）



申込

Zoom開催：要事前登録

[https://zoom.us/join/zoom/register/tJYkd-2vqTooHdWVka-Rv\\_FTHNZF-bEc\\_2aV](https://zoom.us/join/zoom/register/tJYkd-2vqTooHdWVka-Rv_FTHNZF-bEc_2aV)

### 講演者プロフィール

京都大学法学部卒業、リール大学法学部にて政治学DEA(博士準備課程)、フランス高等研究学院(EHESS)にてPhD(歴史学)を取得。現在、リール大学教授。専門は日本近現代史、歴史社会学、比較政治史。幕末・明治初期の江藤新平をめぐる知の交流やヨーロッパにおける日本学の源流、同時期の法政概念と軍制との関わり等を研究テーマとし、グローバル歴史の観点から、歴史学の様々な可能性を追求している。

### 講演要旨

19世紀の陸軍将校には軍事に従事するだけでなく、国際移動による様々な知識の獲得・普及に貢献した者がいた。その多様な姿をアルベール・デュ・ブスケ(1837-1882)を例に紹介する。デュ・ブスケは現ベルギーに生まれ、サンシール陸軍士官学校に入学、卒業後はアルジェリア戦争、アロー戦争に従軍し、アラビア語と中国語を習得した。1867年、第1次フランス軍事顧問団の一員として来日し、維新後は在日フランス公使館付第一通弁官となる。1870年、陸軍大尉として兵部省、続いて1年後に左院、さらに1876年からは元老院付のお雇い外国人として活躍した。1878年にフランス公使館の専任通訳になるが、1882年、45歳の若さで東京にて死去する。デュ・ブスケはフランスの軍制・法制導入の先駆者のみならず、外交面・文化面でも日仏交流の端緒を開いた。

## §プログラム§

- |             |                               |
|-------------|-------------------------------|
| 14:00～14:10 | 開会の挨拶と趣旨説明                    |
| 14:10～15:10 | 講演「陸軍将校の国際移動と知の交流—デュ・ブスケを例に—」 |
| 15:10～15:30 | 休憩                            |
| 15:30～16:55 | 討論                            |
| 17:00       | 閉会の挨拶                         |

\*司会：谷口 眞子（早稲田大学文学学術院 教授）

\*共催：基盤研究（A）「19世紀を中心とした軍事的学知をめぐる人と書物の交錯」  
「戦争と社会の歴史」研究会